



真野中だより

＜校訓＞ 立志力行 協力親和

真野中学校12月号 (504号)

令和5年12月22日発行

教育目標
3つの心

豊かな人間を目指し たくましく生きる生徒の育成
感謝する心 素直な心 努力する心

一燈照隅（いっとうしょうぐう）

校長 中川 久雄

今年も残り10日を切り、テレビや新聞等では、「今年の重大（10大）ニュース」が取り上げられています。新型コロナウイルス感染症の5類移行や観測史上最高の猛暑など、印象に残っているできごととは人それぞれだと思いますが、私個人としては、やはり14年ぶりのWBC優勝です。

10月9日にアミューズメント佐渡で行われた栗山監督の講演会では大会の裏話等の他に、栗山監督の人間性や人生観にもふれることができました。

今月号のタイトルは、栗山監督の著書『栗山ノート』で取り上げられていた内容ですが、年末にふさわしい「ゆく年くる年」的な要素もあるので、その抜粋を少しだけ紹介させていただきます。

テスト生でヤクルトスワローズに入団した当初は、プロのレベルの高さに戦慄を覚えました。ここは自分がいるべき場所ではない、自分などいてはいけないとの絶望が心の中で重い塊となり、いっそ死んだほうが楽ではないかとさえ考えたことがありました。

周囲の励ましや支えによって1軍でプレーできるようになると、メニエール病に襲われました。三半規管に原因のあるめまいが予告もなしに襲ってきて、しかも治療方法が確立されていないので完治はできません。全力でプレーできない自分を許すことができず、29歳で現役を引退しました。

監督としてグラウンドに戻ってからも、挫折の繰り返しです。パ・リーグ優勝や日本一も経験しましたが、山頂にはほど遠い感じです。

今もなお、懸命にハードルを飛び越えようとして、足が引っ掛かって倒れたりしています。膝についた泥を払いながら、私は安岡正篤さんの『一燈照隅』の4文字を心の中で唱えます。「大きなことを口にするよりも、まず自分がいるその場所を明るく照らす」という意味で、自分自身に落とし込むと「一生懸命にやったことが誰かのためになり、それを一度ではなく二度、三度と続けていく。一人一人がそれぞれの役割を果たすということが、生き様として素敵なのだ」ということになります。

この『一燈照隅』という言葉は、比叡山延暦寺を開いた最澄が唐からもち帰った言葉だとされています。実は、この4文字には続きがあって、『万燈照国』（ばんとうしょうこく）と続くそうです。

すなわち、「一つ一つの燈がたくさん集まることで、やがて国全体をも照らすことになる」、そんな意味のようです。一隅を照らすことしかできないほど個々人の力は小さくても、志と心意気のある人々がみんなで自分のもち場を照らしていけば、国全体が明るく照らされるようになるという、希望に満ちた言葉です。

真野中の生徒、保護者、教職員それぞれが、大義や大志はしっかりと胸に抱きつつ、その特性や可能性に基づいてまずは自分の目の前を明るくし、その燈が次々と周囲に広がって光り輝く真野中になる。そんな新年になることを願っています。それでは、みなさま、良いお年をお迎えください。

令和6年度 真野中学校生徒会本部役員の決意

令和6年度生徒会本部役員を決めるために、11月30日(木)に立会演説会、投票が行われました。来年度の真野中学校の代表を決める大切な選挙として、どの立候補者もさらに素晴らしい真野中学校にしたいという熱意溢れる演説が行われました。

当選した4名は、11日(月)の生徒朝会で、校長先生から認証書を受け取り、決意を新たにしたことと思います。今後は生徒会本部のメンバーや各専門委員会委員長の委嘱と、来年度の生徒会組織がつくられていきます。学校行事や自治活動にさらに意欲的に活動してほしいと思います。

生徒会長としての目標

2年 笠井 瑛太

新生徒会長になりました、笠井瑛太です。生徒会長として、3つの目標を掲げます。

1つ目は、みんなが楽しめるような企画を考え、全校を盛り上げていくことです。1年生から3年生まで協力して行事を作り上げ、学校全体を盛り上げたいと思います。2つ目は、自主的にあいさつができる学校にすることです。あいさつ強化週間を実施し、モチベーションを向上させます。自ら進んであいさつできるような企画を提案していきます。3つ目は、メリハリをつけ、みんなが自分の行動に責任をもち、お互いを信頼し合える学校にすることです。学校生活で自分の行動が必ずよい方向にいくとは限りません。自分が間違ったときには、みんなで改善策を考えていきたいです。

私は、仲間の力を借りながら、全力で取り組んでいこうと思います。また、全校生徒から信頼され頼られるそんな生徒会長になれるように頑張っていきます。よろしくお願いします。

新生徒会副会長として

2年 池田 灯

新生徒会副会長になりました、池田灯です。私は、居心地がよく、この学校の生徒で良かったと思える学校づくりをしていきたいと思っています。そのために、2つのことを重点的に取り組みます。

1つ目は、「スマイル0円!計画」です。挨拶運動やポスター掲示で明るく笑顔のある挨拶を目指したいです。

2つ目は、生徒一人一人が主体性をもって様々な活動に取り組むことです。そのために、みんなが楽しめるイベントづくりに取り組んでいきたいです。

今年の生徒会の良いところを伸ばしてもっとよりよい学校にしていきたいと思っています。私が副会長になって良かったと思ってもらえるよう頑張ります。みなさんのご協力、よろしくお願いします。



新生徒会副会長としての抱負

2年 若林 潤介

新生徒会副会長になりました、若林潤介です。私が副会長として行おうとしていることは3つあります。

1つ目は、一人一人がけじめをつけて生活できる学校にすることです。まず皆がけじめをつけて生活するための第一歩として、タイム着席を徹底します。

2つ目は、いつでもどこでも誰にでも挨拶ができる学校にすることです。どんな条件でもあいさつができれば、真野中学校は、元気で、活気のある学校になると思います。

3つ目は、他学年との交流が多い学校にすることです。交流を増やすことで、緊張感がなくなり、挨拶や返事の声が大きくなると思います。

この3つを実現させるために、生徒会長を支え、時には全校をまとめながら、一生懸命頑張りますので、よろしくお願いします。



新応援団長として

2年 永井 柊

新応援団長になりました、永井柊です。応援団長として頑張りたいことが2つあります。

1つ目は、あいさつです。あいさつはたくさんの人を笑顔にすることができます。なので、「自分からあいさつ 目を見てあいさつ 笑顔であいさつ」この3つを意識して頑張りたいと思います。2つ目は、握手です。私は演説会でも言ったとおり、あいさつと握手で友情関係が深まり、よりよい学校生活が送れると思いこの提案を出しました。なので、あいさつ運動とあわせて頑張りたいと思います。

最後に、全校で一番大きな声を出し、私が率先して行事やイベントを盛り上げていきたいと思っています。一生懸命頑張りたいと思いますので、皆さん、ご協力をよろしくお願いします。



皆様、よいお年をお迎えください。来年もよろしくお願いいたします。

真野中学校職員一同

